

(第2号様式)

陽明第3608号
令和7年3月25日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立陽明高等学校
校長 宮里 哲
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	平成36年7月18日	陽明高等学校会議室	評議員4名職員9名
第2回	平成36年12月23日	陽明高等学校会議室	評議員4名職員9名
第3回	平成37年3月21日	陽明高等学校会議室	評議員2名職員9名

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校経営方針をもとにした教育活動全般(重点努力目標7項目)に関する評価及び助言
○学力向上と希望進路の実現○総合学科・総合産業科の魅力化○学校の活性化○信頼される学校づくり
○授業改善と教育環境の整備○特別活動の充実と規範意識の醸成○働き方改革と業務改善・ハラスメントの防止
- ②体育施設改築等に関する助言
- ③教職員の働き方改革に関する助言

3 学校評議員の意見

- ①学校が良い方向に向かっていると感じられる
- ②メーリングサービスが便利であり、活用して欲しい。
- ③特支の汎愛会であるが、できれば一般の方に向けた催しも設定できればいいのではないかと。
- ④学力の幅が大きく対策を考える必要がある。外部の出前授業等の活用も効果的である。
- ⑤3年後4年後を視野に入れた進路指導と生きる喜びにつながる学校支援が必要である。

4 学校運営に反映した事項

- ①単位履修生及び休学生徒など、支援を要する生徒に対して就学継続に向け、関係機関の連携を得ながら粘り強く指導を行うことができた。
- ②実践発表会において高校と高等支援の成果を保護者及び地域に向け昨年以上に有意義な発表ができた。
- ③生徒のキャリア教育の充実に向け、小学生に呈する出前授業及び地域交流授業や高等支援の介護入門研修を実践できた。

5 課題その他

- ①支援を要する生徒対応について、関係機関及び職員の共通理解を得ながら就学の継続に取り組む必要がある。特に勤怠状況の改善のため、次年度も継続して粘り強い対応が必要である。
- ②PTAの協力を得ながら検定及び資格取得の充実に取り組む必要がある。
- ③働き方改革について、保護者の中にも各競技の経験者はいるので協力を得ながら、時間外業務時間の縮減に取り組む必要がある。